

おひさま ササガ

2018



vol.184

5

はいっポーズ!

《端野地区・協和》

中崎純一さん・花衣さん夫妻と
菜羽ちゃん・權地くん

(紹介は2ページです)

特集

第15回きたみらい農業
協同組合通常総代会





玉葱の移植

季節の薫り



暖かな日差しが差し込む4月中旬、きたみらい管内では玉葱の植え付け作業が一斉に始まりました。今期は3月上旬の大雨でハウス内の苗が水に浸るなど多少の被害がありましたが、好天で融雪が早かったこともあり、苗が順調に生育し、例年と同時期に移植作業を迎えられました。

留辺薬地区の飯田和浩さんは23日から移植を開始。今年の作付けについて「順調に生育している。災害にあたらず高品質の玉葱を全国に安定供給できれば」と抱負を語りました。

(菊池 光祐)



写真は4月23日、留辺薬地区で撮影。当JA管内の玉葱作付面積は約4,600㍏を見込む。

もくじ CONTENTS

特集

第15回きたみらい農業
協同組合通常総代会……………4

○季節の薫り……………2

○表紙紹介……………2
「こいのぼりに思いを込めて」

○地域だより……………6

○ほのぼの広場……………8

- ・きたみらい青年部
- ・記念の一枚
- ・ブリティウーマン
- ・わが家のアイドル

○JAからのお知らせ……………10

○おひさまサラダクッキング……………20
「手羽先のシヨウガ煮」
「サトイモのみそ煮」シヨウガ風味」

表紙紹介

こいのぼりに思いを込めて

中崎さん一家は花衣さんの実家、(有)中農場の後継者として、今年1月に苫小牧から越してきました。お姉ちゃんの菜羽ちゃんは元氣いっぱいの子。幼稚園で先生のひいてくれるピアノが好きなんだそう。将来は「かわいいプリキュアになりたい!」と教えてくれました。弟の權地くんは、音楽にあわせて踊るのが大好き。お気に入りのCMが流れるとさすがテレビの前に来てダンスしているそうです。

そんなかわいい孫たちがやってきてとても喜んだおじいちゃん、家の近くで切ってきた丸太の皮を剥いて、丁寧にやすりをかけて竿にし、立派なこいのぼりを用意してくれました。竿の高さはなんと16メートル!春の明るい空を雄大に泳ぐこいのぼりが、子どもたちの健やかな成長を見守っています。家族の新しいスタートに、おとうさんとおかあさんは自然に囲まれた土地に移ってきたので、子どもたちには自然と共にのびのびと育てほしいです」と話してくれました。

(石井 睦美)



【ご家族の紹介】
左から～おじいちゃんの中秀一さん(64)、長男の權地くん(1歳4か月)、おばあちゃんの中智子さん(61)、おかあさんの中崎花衣さん(30)、長女の菜羽ちゃん(3)、お父さんの中崎純一さん(40)、中崎さん【(有)中農場】は玉葱、種子馬鈴薯など約26㍏を作付しています。

提出議案8件を承認 特別決議を採択

第15回JAきたみらい 通常総代会を終える

4月10日、北見市内のホテル黒部で第15回通常総代会を開き、総代363人（本人226人、代理8人、書面議決129人）が出席しました。提出した8議案を全て可決し、「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」を満場一致で採択しました。



▲開会挨拶を述べる西川組合長



▲行政を代表して祝辞を述べる北見市長、辻直孝氏



▲連合会を代表して祝辞を述べるホクレン農業協同組合連合会北見支所長、今野貴紹氏

総代会に先立ち、北海道報徳社より「北海道報徳善行賞」に中川強氏、「北海道枝肉共助会交雑牛の部 最優秀賞」に篠原正美氏、「全国青年農業者会議プロジェクト発表において地域活動の部門 農林水産省経営局長賞」に訓子府町4Hクラブ前会長長の南雅之氏の3名に西川孝範組合長から賞状と記念品が手渡されました。総代会開会にあたり、齊藤常務の開会宣言に続き、出席者全員でJA綱領を朗唱しました。

開催挨拶で西川孝範組合長は「平成29年度決算では順調な事業遂行によって、当期末処分剰余金7億9200万円を計上できた。組合員各位の積極的なJA事業の結集と関係機関のご指導、ご支援に対して心より感謝します。また、魅力あるJA、選ばれるJA、地域に貢献できるJAであり続けることに経営資源と機能を結集し、積極的に取り組んで参ります」と述べました。

引き続き来賓を代表して、北見市長 辻直孝氏、ホクレン農業協同組合連合会北見支所長 今野貴紹氏よりご祝辞を頂きました。

続いて、議長団に洞政義さん（訓子府地区）、小野俊浩さん（北見地区）



▲監事報告をする和代表監事



▲議案を説明する齊藤常務



▲議長を務めた洞政義さん（訓子府・左）と小野俊浩さん（北見・右）



▲「北海道枝肉共助会交雑牛の部 最優秀賞」を受賞した篠原正美さん（置戸）



▲「北海道報徳善行賞」を受賞した中川強さん（相内）



▲「農林水産省経営局長賞」を受賞した訓子府町4Hクラブ前会長の南雅之さん（訓子府）

を選出。総代数383人、うち出席者363人で総代会が設立することを報告し、議案審議に入りました。

29年度の農畜産物販売取扱実績は計画対比107・8%の441億3000万円と報告されたほか、平成30年度の農畜産物販売取扱計画は425億1500万円とする事業計画を決定しました。

総代からの質疑では「後継者のパトナー確保対策」や「農地中間管理機構の事業の進捗状況」、「種苗法廃止の影響」など質問や意見が出されました。

また、JAきたみらい女性部小林まゆみ部長より「JA北海道大会決



▲閉会の挨拶を述べる大坪専務



▲特別決議文を読み上げる小林まゆみ女性部長



▲議案に挙手で賛成を表明する総代のみなさん

議事項の着実な実践に関する特別決議を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に大坪専務の閉会の後、午後2時3分に全日程を終了しました。

総代会の質問・意見

提案された議案について3人の総代より以下の内容に関して質問や意見がありました。

- 議案第5号について
 - 内部留保について
 - 担い手の確保について
 - 玉葱集出荷施設の借入金について
 - 加工商品の開発について
- その他
 - 農協の自己改革について
 - 種苗法廃止の影響について
 - 玉葱の加工配分について
 - 農地中間管理機構の事業について

JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議

JAグループ北海道は、政府が定めた平成31年5月を期限とする「農協改革推進集中期間」に対し、改革は自ら行うものとして、「JAグループ北海道改革プラン」を策定するとともに、平成27年11月の「第28回JA北海道大会」において「農業所得の20%増大」「新規担い手の倍増」「サポーター550万人づくり」など決議し、その実践を通じた自己改革を進めている。

平成30年度は、大会決議事項の実践3年目の年であり、政府が定めた期限に向けた最終年度であることから、更なる自己改革への強い意志を共有し、組合員・JA・連合会・中央会がそれぞれの役割再確認した中で、「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を目指し、JAグループ北海道が一丸となって着実に実践する。

平成30年4月10日

きたみらい農業協同組合

きたみらい酪農青年部は4月24日、留辺蘂町瑞穂の農事組合法人瑞穂で現地研修会を開催しました。

この視察は同青年部で毎年実施されており、事業所の見学や意見交換などを行っています。この日も21名の部員が代表理事組合長の太田忠茂さんの説明に耳を傾け、組織概要や施設内の設備について学びました。

研修を終え同青年部の大橋保登土部長は「毎年有意義な活動を目指して企画している。今年も地域の酪農業の向上を目標に活動を行っていきたい」と話しました。

10年目の活動を迎えた今年度、視察研修や学習会などを実施し更なる知識習得を図っていく予定です。

(菊池 光祐)



▲太田代表理事組合長の説明を聞く部員

西地域 留辺蘂 **農事組合法人 瑞穂を視察**
～きたみらい酪農青年部～



▲播種作業を行う斉藤正廣さん

東地域 端野 **例年並みのスタート**
～春まき小麦の播種～

きたみらい管内では4月中旬から一斉に春まき小麦の播種が始まりました。

管内で作付けされている春まき小麦「春よ恋」は、主にパンやラーメン、ピザ生地に使用され、豊かな風味とモチモチとした食感に定評があり、全国の製粉会社へ出荷されています。

端野地区緋牛内の斉藤正廣さんの圃場では、4月20日におよそ2.3%を播種。今季の春まき小麦について正廣さんは「本年度は、亜リン酸の葉面散布を行い、子実を充実させ、増収を目指したい」と話しました。

当JAの今季の春まき小麦作付面積は約1,370ha、生産量は約5,900tを計画しています。

(織田 和訓)



地 域 だ よ り



きたみらい管内では、4月下旬から水稻の播種作業がスタートしました。

端野地区・三区で水稻や玉葱などを栽培する、きたみらいもち米振興会の会長、沼崎栄治さんは、4月22日から20.5%に作付予定の「きたゆきもち」の播種作業を開始しました。今年の栽培開始にあたって沼崎さんは、「8年連続平年作を維持しており、この流れに生産者も喜んでいる。順調に作業が進んでいるので、生産者一同病害等の対策をしっかり行い、今年度も収量確保に努めたい」と期待を込めて話してくれました。

きたみらい管内のもち米作付面積は約720ha、7億400万円の取扱高を見込んでいます。

(石井 睦美)

東地域 端野 **水稻播種作業**
～平年作以上に期待～



▲水稻の播種作業を行う沼崎栄治さん

南地域 置戸 **消費者にうれしい男爵芋を**
～男爵芋の植え付け作業始まる～



▲植え付け作業を行う石村博樹さん

今年は3月から気温が上がり、雪解けも順調に進み例年より早い植え付け作業となりました。

置戸町馬鈴薯耕作組合長の石村博樹さんは前進栽培を昨年と同じ2.5%作付け、天候が安定してきた4月19日より植え付け作業を開始しました。

石村さんは「しっかりと栽培管理して、きたみらい産のうれしい男爵芋を消費者により早く届けたい」と意気込みを語ってくれました。

今年度、JAきたみらい管内では生食用・加工用を合わせて約1,980haを作付けし、約6万8千tの生産量を見込んでいます。

(北島 太)

きたみらい
青年部



仲間づくりは
大きな財産

相内地区・住吉
ほしか ようへい
星加 陽平さん(32歳)

- 最近思うこと
だんだんお酒を飲むと眠くなるようになった…。
- 今の楽しみ
青年部員とのふれあい。自分の世代より若い部員と接すると、刺激を受けることが多いです。例えば、スマホのアプリや最近のトレンドも自分たちの時代とは違うなーっと感じます。
- 農業にかける思い
就農して15年目を迎え、本年から念願だった玉ねぎの作付けを開始します。四苦八苦しながら作業していますが、周りの先輩や仲間からアドバイスをもらいながら、育苗管理をしています。今まで以上に張り切って頑張ります。
- 青年部に対して
青年部活動は農作業の合間にあることが多く、なにかと時間が取られてしまいます。ですが私は、仲間づくりは自分にとって大きな財産だと思います。これからも和気あいあいとっと青年部活動を楽しみましょう!!

今回はJAきたみらい青年部副部長の星加陽平さんに登場いただきました。(織田 和訓)

Pretty Woman
ウーマン



不安や悩みの解消の場

訓子府地区・北栄
かわい みえ
河合 三枝さん(54歳)

今回は女性部理事の河合さんに登場いただきました。(菊池 光祐)

◆ご出身、現在に至るまでは?

実家は滝上町で三姉妹の長女として生まれました。もともとサラリーマンだった3つ上の夫と友達の紹介で出会い、昭和60年に結婚。3人の女の子と1人の男の子に恵まれ、長男は後継者として農業を手伝ってくれています。現在は長男夫婦と一緒に暮らしており、3才と生まれたばかりの孫の成長が最近の楽しみです。

◆ご自身の性格は?

ももとの友人から驚かれるかもしれませんが、実は人見知りなんです…。でも慣れてくると誰とでも気さくに話することができますよ!

◆趣味は?

特別趣味といえることはないですが、強いていえば外に出掛けることですね。ドライブが好きな夫と年に1、2回、日帰りで旭川や帯広に食べ歩きをしています。ここ数年は近所の仲良し夫婦と一緒に東京や九州へ旅行に行っており、今年は石川県へ行く予定です!

◆組織活動の魅力、今後の抱負は?

結婚して農業を営むようになってから知り合いがおらず不安がありました。組織活動に参加し、広い地域の様々な年代の方と話す機会があり、楽しく活動に参加しています。加入しようか迷っている方もぜひ参加してほしいと思います。

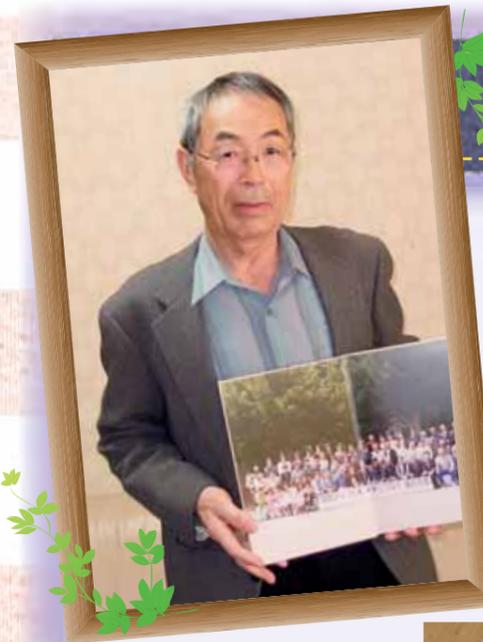
記念の一枚

開拓105年と記念誌史
「緑の大地2015」を発売

この写真は緑丘実践会の開拓105年記念誌史「緑の大地2015」です。平成29年3月に発売しました。緑丘は訓子府町の南側に位置し、三つの丘陵地とオシマ川など河川に沿って平野になっている地域です。

緑丘開拓は大正初頭に当時の野付牛村の丸玉商工機社長の鈴木浩気氏が公用地の払い下げを受けて、馬の牧場や枕木などを生産する造材業を営み、造材の従事者が農地の開拓も合わせて定住したのが開拓の始まりです。開拓した農地は30年余りを経て、自作農に変える民有未墾地開放制度の取組で昭和15年までに約70戸、1200町歩が個人所有の農地となりました。

大正寺さんは「開拓105年を迎えた緑丘実践会は農家減少や住民の高齢化になっていますが、先人から受け継いだ大自然の緑の大地を大切に、希望のある地域にしていきたい」と語ってくれました。(北島 太)



訓子府地区・緑丘
たいしょうじ のぶお
大正寺 信雄さん
(71歳)

緑の大地2015

わが家のアイドル

白米大好き、運動大好き!!

小林家を訪れると少し恥ずかしそうな美咲ちゃんと、元気いっぱいなお兄ちゃんの夏樹くんが出迎えてくれました。

最近では手すりにぶら下がったり登ったりするのが大好きでアクティブな一面や、居間の木馬にゆられ優雅な一面もみせてくれた美咲ちゃん!!

美咲ちゃんはお兄ちゃんとの二人兄妹で、取材時はお兄ちゃんが美咲ちゃんの名前を呼び、手をあげてお返事をする様子をみせてくれる仲良しぶり!

名前の由来は、お母さんが中学生の頃から「女の子ならみさき!」と決めていて、偶然にもお父さんも同じ名前が好きだったようで意気投合!

食べるのが大好きで、なかでも白米が好きでもりもり食べて元気いっぱいな美咲ちゃん。

お母さんの由紀子さんは「祖父母や家族全員から愛され、明るく元気に育ってほしい」と話してくれました。

美咲ちゃんはお小林健さん・由紀子さん夫妻のお子さんです。(大橋 弥生)



▲夏樹くん(左)と美咲ちゃん(右)

置戸地区・雄勝

こばやし みさき
小林 美咲ちゃん
(1歳4カ月)

INFORMATION

～続・今こそJA～ 【第7回】アベノミクスと規制改革

平成24年12月、第二次安倍内閣が発足しました。そこで掲げられた経済政策を「アベノミクス」と呼んでいます。アベノミクスは「3本の矢」という大きな柱から成り立っており、その中でも重点を置いているのが「民間投資を喚起する成長戦略」という項目です。これは経済成長を民間の力で進めること、そのためには自由競争の障害となる規制を取り払っていかうという、いわゆる「規制改革」という考え方が根底にあります。

その規制改革を進めるための組織として安倍総理は平成25年1月に「規制改革会議」を設置しました。この会議は民間有識者と呼ばれる人々で構成され、安倍総理は規制改革会議に規制改革についての意見を求め、規制改革会議は審議した結果を安倍総理に答申します。これを受けて政府は成長戦略に関する方針を決定し、次年度の予算編成や法律改正を進めることとなります。その後、規制改革会議は規制改革推進会議と名前を改めて現在に至

ています。規制改革推進会議には具体的な作業を行ういくつかのワーキンググループがあり、農業に関しても有識者とされる11人で構成されるワーキンググループが設置されています。そのメンバーは大学教授、民間企業の代表者、農業法人代表者などですが、農協関係者は1人も入っていません。国民の信託を受けない者が政策決定に向けて発言し、農協関係者を入れずに農協をどう変えていくかを議論しているというおかしな流れになっているのです。

【第2次安倍内閣の経済政策（アベノミクス）のイメージ図】



変わるJA 広がる地域のぎずな

監修＝広島大学 助教 小林元

Q. 農協改革ってなに？

A. 政府がJAに対し、「農業所得の増大」に最大限の配慮をするよう求めるはたらきのことです。

農業協同組合（JA）は、農業協同組合法（1947年施行）に基づいて設立されています。その法律が2015年に改正され、「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」ことが明記されました。加えて、農林中金・信連への事業譲渡による「信用事業の代理店化」や、「准組合員の事業利用のあり方」なども検討することになりました。

これらの検討について政府は、2016年4月から5年間で正組合員と准組合員の事業利用状況や改革の実施状況を調査し、組合員の評価を受けて改革の結論を得るとしています。また、政府は「担い手との話し合いが重要」としています。

大切なことは、組合員の皆さん自身がJAの将来を考えることです。JAが「農業者所得の増大」「農業生産力の拡大」に全力を尽くすことは当然でしょう。そして、組合員のくらしや地域を元気にする取り組みもJAの重要な役割です。地域になくならないJAの未来を、組合員の皆さんで考えていきましょう。

耕ぞう。大地と地域の未来。

年	主な出来事	JA大会決議・自己改革等(想定)
25	11月 「今後の農業改革の方向について」	11月 「JAグループ自己改革について」
26	5月 「農業改革に関する意見」	
26	6月 「農協・農業委員会等に関する改革の推進について」	
27	8月 改正農協法成立	10月 第27回JA全国大会
28	4月 改正農協法施行	9月 魅力増す農業・農村の実現に向けた提案
28	11月 「農協改革に関する意見」「農業競争力強化プログラム」決定	4月 魅力増す農業・農村の重点案(第28回JA全国大会)
29		「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立(第28回JA全国大会)
31	9月 会計監査の実施・中央会組織変更期限	
32	3月末 改革の実施状況等調査の期限、検討・結論	
33		(第29回JA全国大会)

JAグループ北海道が組織する北海道農協政治連盟が、次期参議院選全国比例区での組織代表候補として、黒田栄継氏を全国農政連に推薦しました。

黒田氏は芽室町で畑作経営を営んでおり、平成26年度に全青協会長を務め、組織活動でつちかっ た判断力・行動力と全国的な知名度があります。農政課題が山積する中、現役農業者の代表を国政に送り、世論形成の核となることが重要と考えています。

黒田氏と現職山田とお氏を含め、3名での予備選挙が6月上旬までに実施されます。全力で取り組みますのでご支援・ご協力をお願いします。



JA北海道中央会

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JAグループ通信

ホクレン女子陸上競技部は、2018年度の新体制について記者発表を行い、長渡新監督のもと「覚悟と挑戦」のスローガンを掲げ新たなスタートを切りました。菊地優子選手を主将に、寺島優奈、不破亜莉珠の新人2選手を加えた10名で全日本実業団女子駅伝や個人種目の目標達成に挑みます。長渡新監督は「身の引き締まる思い。新しい部の歴史に名を残せるような結果を今シーズンから残していけるよう精進したい」と抱負を語りました。

ホクレン



JAバンクでは、子どもたちが食と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,079校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



▲北海道教育委員会 教育長へ贈呈

JA北海道信連



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、「広報誌」『すまいる』を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非「一読ください」。



JA共済連北海道

JA共済連では、こども共済の資料請求キャンペーンを実施しています。

こども共済は、お子さま・お孫さまの学資金を計画的に準備でき、給付率は業界トップクラスです。また、2017年度に「マザーズセレクション大賞」を受賞しております。

今年度は、資料請求をされた方先着60,000名様に、アンパンマンお食事エプロンをプレゼントしています。詳細はホームページをご覧ください。



INFORMATION

JA北海道大会実践フォーラム
 パネルディスカッション
**「協同の力で実現する
 新規担い手倍増に向けて」**
 ③

「協同の力で実現する新規担い手倍増に向けて」と題したパネルディスカッションの内容を3回シリーズでご紹介します。今回は最終回となります。



小林 国之氏
 北海道大学 准教授

新規参入者の支援にあたっては、バックアップチームといったような新規で参入した人を地域に定着させる取り組みが重要だと思います。JAけねべつにおける取り組みを伺えますでしょうか。

中瀬 満氏
 JAけねべつ 参事
 (事例発表者)
 うちの地域は酪農専業地帯であり、投資に際しては多額の借金が必要なため、新規参入者も相当の覚悟で



齊藤 和弘氏
 北海道農協青年部協議会 顧問

けねべつさんの事例を聞きまして、強い決意、これが一番大事だと感じました。青年部のポリシーブックに



はどの地区でも担い手不足の問題が書かれています。今日いらっしゃる方々には、強い決意を以て、取り組んで頂きたいですし、僕らも人との繋がりに関わる取り組みを実践していきたいです。個人的には3人の子どもの誰かに跡を継いでほしいと思っておりますし、酪農、父さんってかっこいいね、そう言うってもらえるようになります。



中瀬 参事 今日是我々の農協の事例発表をしましたが、今度は自分が各地区の担い手対策についてもっと勉強したいです。農業に活力を生み出すには、若い人に活力があることが一番重要だと思います。そういう部分は農協としても力を入れながら、計根別は若い人もいて楽しいよ、そんな風に見える地域にしていきたいです。

入ってきます。そこでは農協を核としつつ、地域の方々、関係機関の方々に相談機能を充実させていかないと、就農者は不安になります。うちの農協は、3年間に渡り支援の対策を講じております。地域全体で支援しているから頑張ろうよ、といった掛け声をかけながら、取り組んでおります。

小林准教授 支援の体制において、こういうところはもっと改善したいという点がありますか。

中瀬参事 農協の担当者は色々相談を受けますが、大変なのかなとも思いますが、就農者自体は今のところ順調に推移しているのかなと感じます。

小林准教授 宮下さんに一点伺いたいのですが、栗山も今までたくさんの新規参入者を受け入れられてこられたと思います。栗山においても計根別のようにバックアップチームといったものをつくって就農後のサポートをするという体制をとっているのでしょうか。



宮下 道男氏
 栗山町農業振興公社 就農支援アドバイザー

うちの場合では、研修生の受け入れ先を、技術レベルが高くリーダーシップのある農家に固定しており、そこで指導を受けてから、就農してもらっております。



石田 健一氏
 JA北海道中央会 参事

地域の担い手は地域で育成、確保するのが基本ですが、中央会・連合会の取り組みとしては平成28年度からJAグループ北海道担い手確保育成支援事業を立ち上げました。平均規模以下の方に後継者が戻り規模拡大あるいは追加投資をする場合に、JAや地元行政が助成すると、そこに追加的に支援・助成するという事業です。この2年間で27農協124人の方に事業通じて支援、助成を致しました。中央会・連合会もまだまだ微力ですが全道の新規担い手倍増という目標に向かって支援をしていきます。

小林准教授 皆さんのお話を聞いて、地域の担い手は地域で作るという決意、覚悟が何よりも大事だと思います。これからの北海道は人が少なくなっていくという側面があり、北海道農業を今まで当たり前であった取組みの延長線上では考えることが難しくなってきました。そんな現状を感じながら一度立ち止まって、地域の姿がどうなるか、自分たちが子どもたちの将来がどうなるかということを考え



す。新規就農者が研修先の親方を一番頼りとするような仕組みにしております。

小林准教授 新規参入者の受け入れは地域の共通目標でなければいけませんし、受入体制の安心感を受入れの前後で与えられる体制が必要と感じます。最後に新規担い手倍増に向けて、JAグループとして、または自分として取組みたいことを一言ずつお願いします。

宮下氏 農業者の財務状況や人柄が一番分かるのは農協の職員、理事さんだと思います。新規参入者を経営基盤の悪い地域に入れても、中々育ちません。JAには農業を辞める人のこと、また今営業されている方々の経営指導に取り組んで頂き、スムーズに経営移譲できる体制づくりをお願いしたいです。

近江 正隆氏
 株式会社ノースプロダクション 代表取締役



地域の子どもたちが、素晴らしい地域に住んでいるんだ、父さん母さんは命に直結する大事な仕事をしているんだと誇りに思っ育てよう、学校の先生や地域の行政とも連携するべきと思います。子どもたちが小さい時から農業に慣れるよう、取り組めることはまだまだあると思います。

てみるべきだと思います。けねべつさんはそういう機会を実際に設けられて、地域の合意形成をした上で、自分達も身銭を切りながら支援策をやっております。今日のパネリストの皆さんの話を踏まえ、一人一人が地域に戻りそれぞれの立場で活動して頂いて、20年後、30年後の北海道農業はどうなるの今後聞かれたときに、地域でこんな話をしていければと思います。これを以て第一部のパネルディスカッションを終了させて頂きます。どうもありがとうございました。



INFORMATION

設立70周年記念式典・・・端野町農民同盟 “七十年のあゆみ 挑戦” を発刊



▲乾杯シーン 左の舞台 北見市端野自治区長 藤田正輝さん



▲開会の祝辞
端野町農民同盟委員長
土山 毅さん

オホーツク管内北見市内のホテル黒部で4月5日「端野町農民同盟設立70周年記念式典」に約50人が集まり開催されました。

開会で委員長の土山毅さんが設立70周年にあたり、「端野町農民同盟は戦後混乱期中、農民社会の民主化や経済的地位の向上のために農民運動が始まりである。これからも、自由と平和を目指し、豊かな農業・農村社会を明るくする運動に「挑戦」して行きます」と力強く挨拶されました。

端野町農民同盟は昭和23年3月に（故）天谷平信初代委員長のもと、当時の端野村端野にあった「豊年座」（興行場）で端野村農民同盟の発会式が行われ設立された。設立当時は活動資金も乏しく、月1回の常任委員会を開催する場所さえ事欠く状況であったようです。

現在の事務所はJAきたみらい端野地区事務所内に置き、執行委員及び農産・野菜部や畜産部、税資材部の専門部を設置してそれぞれ活発に活動しています。（29年度末盟友192戸）

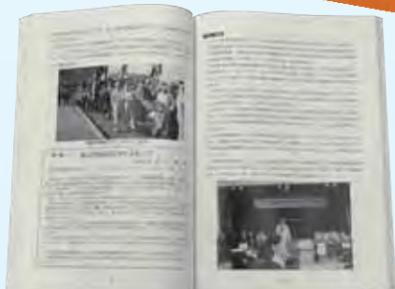
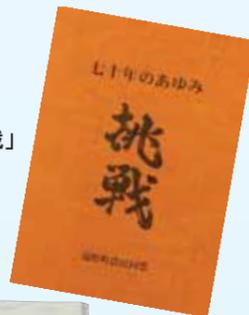
感謝状の授与では設立50周年以降の歴代委員長、副委員長、書記長、記念誌執筆者、事務局員に手渡され、表彰者代表で平成10年～13年まで委員長を務めた石川利和さんが「委

員長の職責が果たせたのも、盟友や端野町、農業関係機関の皆さんのお陰であります」と感謝を述べました。

設立70周年記念にあたり、記念誌「七十年のあゆみ 挑戦」を発刊、編集には旧端野町長の田中誠さんが執筆から編集まで多大な尽力を傾けてくれました。

記念誌は設立から現在まで70年間の農政活動や年表などが掲載され、北見市端野自治区図書館や端野町公民館にも寄贈され一般の方でも閲覧できる予定です。（北島 太）

設立70周年記念誌▶
「七十年のあゆみ 挑戦」



▲記念誌の
106p-107p



▲開催挨拶を行う西川組合長



▲出席した夫婦のみなさん

3月27日、センター事務所にて、平成29年度に結婚した後継者及びパートナーを対象とした「新婚さんの集い」を初めて開催しました。当日は平成29年度に管内で結婚した12組のうち、9組16名が出席。開催にあたり、西川組合長は「農業は食糧生産を担う重要な生業。困難に立ち向かうにあたっては農協が解決に向けて協力します」と激励の言葉を送りました。その後、常勤役員や

フレミズ役員を交えて昼食をとり、互いに営農に向けた思いを話し合うなど交流して、仲間づくりを行いました。JAきたみらいフレッシュミズの大橋加奈子会長は「これから一緒によりよい営農や地域の活性化を目指していきましょう」と話し、フレミズ活動を紹介したうえで、地域の新しい仲間に加を呼びかけました。

（石井 睦美）

「新婚さんの集い」を初開催 新婚激励会に9組16名が出席

北海道農業協同組合 功労者表彰

去る3月13日、札幌市共済ビルで平成29年度北海道農業協同組合功労者表彰がありました。

当JAからは西川孝範組合長が平成20年より代表理事組合長を務め、小麦乾燥施設や馬鈴薯集出荷施設、施工中の玉葱貯蔵施設を始めとした集出荷施設などを整備、出向く営農・購買・信用共済の功績が高く評価され受賞の運びとなりました。

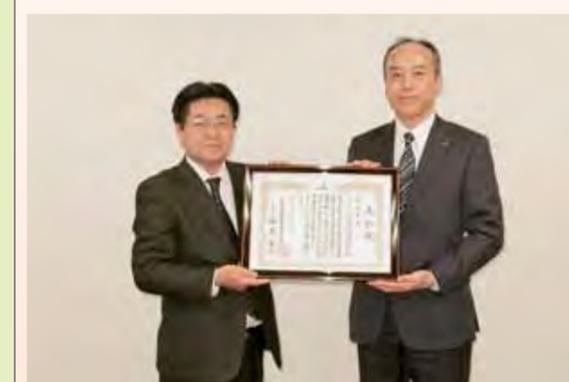


▲功労者表彰を読み上げるJA北海道中央会
飛田稔章会長(左)
表彰状を受け取る西川孝範組合長と仁美夫人(右)

JAバンク全国大会功労者表彰

去る2月20日、第17回JAバンク全国大会において、長年にわたりJAバンクの発展にご尽力いただいたJAに対して表彰がありました。

当JAは貯金・年金・ローンなどをそれぞれのポイントを総合計した総合表彰において、北見管内第1位となり、4月18日にJA北海道信連JAバンク統括本部長林則明氏が来所し、大坪広則専務に表彰状の贈呈が行われました。



▲JAバンク統括本部長 林則明氏(右)、
大坪広則専務(左)

INFORMATION

第3回 理事会報告

4月20日、午前9時00分より第3回定例理事会が開催され、報告事項10件、決議事項6件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①内部監査（経営定期点検）報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④オホーツクJA組合長会海外視察研修について
 - ⑤平成30年3月9日降水・融雪水被害について
 - ⑥平成30年3月9日降水・融雪水被害に係る玉ねぎ余り苗手配対応について
 - ⑦ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除について
 - ⑧H29年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果販売状況について
 - ⑨麦類格付基準の改定について
 - ⑩購買部門の連休対応について

- 【決議事項】
- ①規程類の改正について
 - ②外部出資金の増口について
 - ③固定資産の取得について
 - ④行政庁に提出する業務報告書について
 - ⑤理事に対する資金の貸付について
 - ⑥理事報酬の配分について

お詫びと訂正

4月号(183号)のおひさまサラダで、誤りがありましたので次のとおり訂正し、深くお詫びいたします。
P20 星賀 武さんの欄に追加
→ ※退職者再雇用制度により在職

防犯パトロール団体に給油値引きチケット贈呈

JAきたみらいでは4月26日、地域の防犯活動を支援する目的で、青灯防犯パトロール車両に対し、当スタンドで給油するとガソリンや軽油が値引きされるチケットの贈呈式が行われました。
齊藤和雄常務から北見地域防犯協会会長太布康洋氏へ目録が手渡され、「本当にありがたい。市民の安全安心のためにも効果が出るでしょう」と感謝されました。

現在、北見警察署管内では計86台の車両が、地域の安全安心のため自主防犯パトロールを実施されており、当JAとしても、燃料負担を少しでも軽減いただき、地域の防犯活動をより活発に行なうお手伝いのできればとの思いから、値引きチケット贈呈の運びとなりました。



▲齊藤和雄常務(左)、北見地域防犯協会会長太布康洋氏(右)



▲産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

※注意事項
●農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行います。受入日時・場所や排出区分など確認の上、持ち込み願います。

なお、未洗浄農薬空容器は再生処理ができないため、洗浄済みのものと比べ約10倍の処理費用が掛かります。空容器、空袋は洗浄して排出をお勧めします。

- 受入区分
- ・農ビ類 ・農ポリ類
 - ・未洗浄農薬空容器
- 受入時間
- ・午前 9:30~12:00
 - ・午後 13:00~15:30

日程	受入場所
6月11日(月)	温根湯選果施設
6月12日(火)	置戸堆肥センター
6月18日(月)	西相内小麦乾燥貯蔵施設
6月19日(火)	西相内小麦乾燥貯蔵施設
7月5日(木)	端野選果施設
7月6日(金)	端野選果施設
7月10日(火)	訓子府選果施設

※6月18日・19日の西相内小麦乾燥施設は全地区の受入が可能です。

6月11日から各地区で
廃プラ回収のご案内

PAリミテッド

ボディカラー: 白

PCリミテッド

ボディカラー: 黒

働く人を応援する

EVERY 特別パッケージ

特別主要装備

希望小売価格 **120.8万円**

特別主要装備

希望小売価格 **129.8万円**

先進の安全技術装備搭載

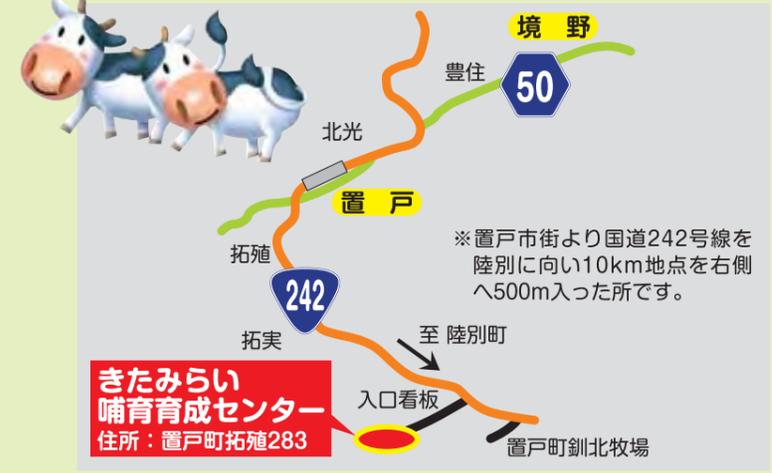
ESP

特別装備アクセサリ(8品)をセットでプレゼント!!

【お問合せ先】
JAきたみらい 燃料自動車グループ
生産資材拠点センター
(☎ 0157-47-2099)

伝書鳩WEBサイト「オホーツク特選街」掲載中!
きたみらい給油所のお得なイベント情報などを掲載!
(下記URL・右側QRコードで公開。スマホからでもOK!)

http://denshobato.com/tokusen/hokuren-ss-kmi/top_ukx



- 価格は1kg当たり1,000円となります。(本体926円+消費税74円)
- お渡し時期は5月25日~6月25日、10月20日~30日
- 育成牛の堆肥です。未熟堆肥であることをご了承ください。
- 年間販売見込数量1,200ト
- 分析値

水分	pH	EC	T-N%	P	K
88.17	8.58	7.53	0.31	0.183	0.345

購入を希望される方は電話にて申込願います。なお数量に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

合同会社 きたみらい哺乳育成センター 電話：0157-53-2233
小林場長 携帯：080-1976-6329

きたみらい哺乳育成センターで堆肥を販売します。
きたみらい哺乳育成センターまで取りに来ていただける方を対象としています。

きたみらい哺乳育成センター
余剰堆肥の販売について

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



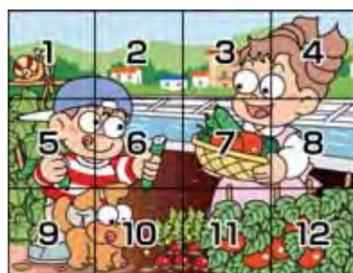
4月号まちがいさがしの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「4、5、7、10、12」でした。正解者42名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・前沢るり子さま (北見) ・植松 竹子さま (北見)
- ・木村 一夫さま (上常呂) ・坂井八重子さま (端野)
- ・福田利津子さま (温根湯) ・荒 えみ子さま (留辺蘂)
- ・林 有莉さま (相内) ・小林 夏樹さま (置戸)
- ・竹村 美佐さま (訓子府) ・斎藤 博行さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「芳醇玉葱醤油」と「北見玉葱焼肉のたれ」をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「麦まるごとうどん」3袋をプレゼント致します。

表 紙のヒカヒカの1年生の笑顔(4月号)、最高ですね。「新1年生が通学すると思う」と私も自動車の運転に気をつけようと思いました。

(北見地区 匿名希望さん)

毎年、痛ましい事故が発生しています。読者の皆さんも子どもたちの「道路の飛び出し」に注意して、子どもたちをみんなで守りましょう!!

ア ッという間に雪がとけ、何だか干ばつになる様な...

3年生になりました。今年から、吹奏楽に入ろうと思っています。頑張ります。

(留辺蘂地区 坂下みちるさん)

吹奏楽部に入部するのですね。留辺蘂の吹奏楽部は活発に活動していて管内では有名でよく耳にしますよ。全国大会に向けて頑張ってください。

応援しています。

畑 仕事も始まり、娘は高校へ通い忙しくなりました。春は始まりの季節ですね。気を付けて頑張ります。

(温根湯地区 岩橋 椎奈さん)

高校生は自立していますが、朝早く夜遅くお弁当や送迎もあるので、農作業の繁忙期は特に大変ですね。農作業事故の報告もあります。疲れたら無理せず、休憩してください!!

い つもおかあさんといっしょにまちがいさがしをしています。きょうも5つみつけたよ!

ホウレンソウに「たまねぎドレッシング」をかけて食べたらとてもおいしかったです!

(置戸地区 小林 夏樹くん)

こんかいはどこがむずかしかったかな? また、ちょうせんしてくださいね!!

これから、しんせんやさいがいっぱいとれてきます。たくさんたべてね。



シニア野菜ソムリエ KAORUの

ベジタブルライフ

イラスト:小林 夏樹

ショウガのプロフィール
 【分類】ショウガ目ショウガ科ショウガ属
 【原産地】インド〜マレー半島のアジア南部
 【和名】生姜(ショウガ、ショウキョウ) 花ショウガ(ハナショウガ)
 【おいしい時期(旬)】5〜9月ころ
 【主な栄養成分】マンガン、カリウム、ジンゲロール、ショウガオール、ジンゲロン、ジンゲレン、シトロネロール

ショウガ

〜香りと辛味が薬効をもたらす香辛野菜〜

ショウガの子持ち



ジンゲロール
ショウガの辛味成分で最も多く含まれる。最初に感じるピリッとした辛さ

抗酸化作用が高く、生活習慣病予防に効果があるといわれている

血行を促進する働き、代謝を高める作用があり、風邪予防や冷え症対策としても役立つ



ショウガオール
ジンゲロールの脱水反応によって生成され保存中自然に増加する他、加熱によっても増加する。強い辛味がある。口に残り、じわじわ感じる辛さ

ジンゲロン

ごく微量の成分で、ジンゲロールが分解し生成される。強い辛味がある

ジンゲロン
ジンゲロールが分解し生成される。強い辛味がある。口に残り、じわじわ感じる辛さ

見分け方

根ショウガ

全体がふっくらと張りがあり、堅くて重みのあるもの。皮に傷がないもの。切り口がみずみずしく、乾燥していないもの



白い部分が多く、きれいな色合いのものを選びましょう!

新ショウガ 葉ショウガ

良品は、茎の付け根がきれいな赤い色で、白い部分との色合いがはっきりしている。全体がみずみずしく張りがあり、皮に傷やしおがないもの



保存方法

乾燥を防ぐために、ラップまたは水でぬらした新聞紙、パーパーオールに包んで冷蔵庫の野菜室などで保存



十切りやすりおろしにして、ラップに小分けに包んで冷凍しておけば必要な分だけ解凍して使えるので便利!

楽しみ方・食べ方のコツ

根ショウガは、すりおろしたり薄切りにして、香味や香辛料として利用



香り成分は皮の近くにあるので、肉や魚の臭いを消しに使うときは皮ごと使おう

細かく刻んだり、すりおろすと薬効がもっとも高まるよ

細く十切りにして針しょうがに



砂糖で煮たしょうがは、風邪予防や冷え症対策に最適

皮に風味があるので、香味にする場合は皮ごとすりおろすのがお薦め



水で表面をぬらし、パーンと叩き落とすようにすると皮が簡単に落ちるよ!

ショウガのいろいろ

大きさによる分類

大ショウガ
晩生で茎や葉も大きく成長し、根茎は肥大して大きな株になる。採り前後まで生育することもある。貯蔵され年間を通して生鮮用や漬物などに使用される

日本で栽培されているのは約90%が大ショウガ

中ショウガ
中生〜晩生で、大ショウガに比べて小さく、辛味が強い品種の繊維質が早く形成されるため、貯蔵せず主に漬物や加工品に使用されることが多い

小ショウガ
早生で、株400程度と小さめ。比較的収穫が多く安定している。辛味が強く、早採りして葉ショウガやはいかみなどにされるのが一般的。谷中ショウガなどはこの品種

栽培・収穫方法による分類

根ショウガ(赤根ショウガ)

一般的に流通しているショウガを赤根ショウガとも呼ぶ。ふっくらと丸く、皮がパープルの薄茶色の香りと辛味が強く、香味としての利用がメイン。秋ころに収穫して貯蔵され、随時出荷して通年出荷

葉ショウガ
小さな根茎に茎葉が付いたもの。旬は5月〜9月ころで、谷中ショウガが有名

根ショウガ(新ショウガ)

初夏に収穫される根ショウガで、貯蔵せずに繊維が柔らかくみずみずしい状態で利用する。筋が少なく、爽やかな辛味が特徴

ショウガの産地

東南アジア、アフリカ、中米など、温暖湿潤な地域での栽培が盛ん

熱帯地方では秋に花を咲かせるよ

アジアでは古くから食用、薬用とされ、中国では紀元前から薬用に用いられてきた記録もある

国産品は本割以上が高知県で収穫

日本には3世紀ごろ中国から伝来したといわれ、当初は薬用として栽培されていたが、江戸時代以降は一般的な食用として広まった

同じショウガ目
仲間
ショウガ ウコン



朝ご飯の献立例

- ・手羽先の
ショウガ煮①
- ・サトイモのみそ煮
～ショウガ風味②
- ・ご飯
- ・みそ汁
- ・漬物

① 手羽先のショウガ煮

【材料：1人分】

手羽先……………2本
おろしショウガ…大さじ2
サラダ油……………適宜

＜煮汁＞

かつおだし…1と1/2カップ
料理酒……………1/4カップ
みりん……………1/4カップ
しょうゆ……………1/4カップ
砂糖……………大さじ2～3

【作り方】

- ①フライパンにサラダ油をひき、手羽先を中火で両面焼き色を付ける。
- ②①に煮汁の材料、おろしショウガの半量を入れ中火で煮詰めていく。
- ③煮汁が煮詰まり照りが出てきたら、残りのおろしショウガを入れ出来上がり。シュンギク(材料外)を添えた。

メモ

手羽先は骨に沿って包丁を入れておくと火の通りが早い

② サトイモのみそ煮～ショウガ風味

【材料：1人分】

サトイモ……………4個
おろしショウガ…大さじ1

＜煮汁＞

かつおだし ……1カップ
みりん……………1/2カップ
しょうゆ……………大さじ1
砂糖……………大さじ1と1/2
西京みそ……………大さじ2

【作り方】

- ①サトイモは厚めに皮をむき、柔らかくなるまで下ゆでしておく。
- ②鍋に煮汁の材料を全て入れ強火にかけ、沸いたらサトイモを入れ絡めていき、仕上げにおろしショウガを入れて出来上がり。

メモ

焦げやすいので、鍋を動かしながら煮汁を絡めていく

編集後記

- ・だんだんと播種・移植作業が進んできて、農村地帯はきれいなグラデーションが描かれてきました。また、オホーツク管内も芝桜やチューリップが咲き始めてこれから行楽シーズンが本格化してきます。
- ・読者の皆さんもいろいろな観光地に出かけるとは思います。昨年当JA地域で乗用車がトラクターに追突する事故が発生しています。特に薄暮時間帯とトラクターの右左折時などに発生が見られます。お互いに思いやり、交通事故を未然に防ぎましょう!! (北島 太)

JAきたみらい概要

(平成30年4月12日現在)

- ・組合員数(正) 1,676人
- ・組合員数(准) 6,374人
- ・組合員戸数(正) 1,011戸
- ・貯金 108,334百万円
- ・貸出金 12,028百万円
- ・出資金 4,900百万円